

よみきかせボランティアのための



おすすめえほん

小学1・2年におすすめ

『あたしもびょうきになりたいな!』

ワツツ=ブランダゲナルグ / さく アキ=ブランダゲナルグ / え
ふくもとゆみこ / やく 偕成社 (約4分)



病気になった弟のエドワードは、お母さんやお父さん家族みんなからやさしくされます。でも元気なエリザベスは、自分ひとりで、何でもなくてはなりません。「あたしもびょうきになりたいなあ!」と思っていると、数日後、エリザベスは本当に病気になってしまいます。すると今度は…。同姉弟の絵本は他にも3冊あり。

2015-2016
冬号



小学3・4年におすすめ

子どもに読み聞かせをする人のための 参考資料③

『読み聞かせABC』 東京都立多摩図書館

集団の子どもたちへの読み聞かせにむく絵本200冊を紹介。各絵本に、対象年齢や読み聞かせに要する時間も記載。まずは、ここからはじめましょう。



『あんな雪こんな氷』

高橋喜平 / 文・写真 講談社 (約9分)

おまんじゅうみたいに積もった雪、へびみたいにくねくねのびた雪、木に積もった恐竜の背骨みたいな雪、バームクーヘンみたいな転がってできた雪、UFOみたいな形の氷、でぶつちよだったり、のっぼだったりするつららなど、面白くて不思議な雪や氷の自然の姿を映した写真絵本。小さめの字での解説があり、学年に応じて読むところを変えることができます。その代り、準備は怠りなく。



小学5・6年におすすめ

『フレデリック ちょっとかわったのねずみのはなし』

レオ=レオニ / 作 谷川俊太郎 / 訳 好学社 (約4分)



ある古い石垣の中に、5匹の野ねずみが住んでいました。冬が近くなると、4匹は食べ物をせっせと集め始めますが、フレデリックだけはじっとしたまま動きません。何をしているのかと聞くと、冬のために光や色、言葉を集めていると答えます。さて冬を迎え、食べ物が底をつき始めると…。詩的な文章と象徴的なストーリーが独特の絵本。お好きな方に読んでほしい一冊。

県立図書館では、学校などでの読み聞かせの方法について、「よみきかせ相談会」を実施しています。

子ども室カウンターでも、ご質問などをお伺いしています。



発行：福井県立図書館子ども室
(2015.12発行)

〒918-8113 福井市下馬町 51-11
Tel. 0776-33-8860

福井県 図書館

検索